

# 東大阪市第3次地球温暖化対策 実行計画（区域施策編）【改定版】

## 概要版

みんなで  
地球温暖化対策  
にトライ！



計画本体は  
こちらから↓



### 地球温暖化対策実行計画（区域施策編）とは

東大阪市域の地球温暖化対策を市民・事業者・行政等の協働で推進するため、「地球温暖化対策の推進に関する法律」に基づいて策定する計画です。

#### ■本計画に定めている事項

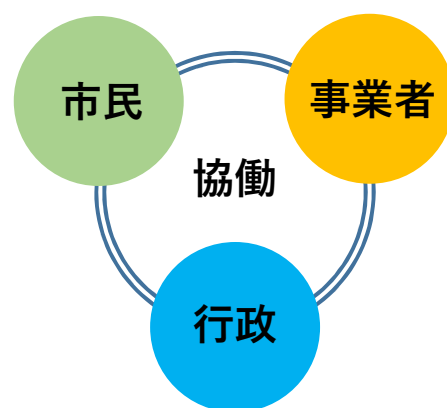
- 再生可能エネルギー利用の促進  
例) 太陽光発電設備等の導入促進
- 市民・事業者の温室効果ガス削減活動の促進  
例) 低炭素なライフスタイルへの転換、環境教育・学習、  
省エネ設備や機器の導入促進
- 地域環境の整備の促進  
例) 都市機能の集約、公共交通機関の利用促進、緑化
- 循環型社会の形成  
例) 廃棄物の減量、再使用、再資源化（3R）の推進

#### ■計画期間

▶短期計画期間：2030（令和12）年度 ▶中長期計画期間：2050（令和32）年

#### ■基準年度

温室効果ガス削減にあたっての基準年度は2013（平成25）年度とします。



# 計画の概要

## ●本計画の対象温室効果ガス

- ・二酸化炭素、メタン、一酸化二窒素、代替フロン類（4種）の7種のガスを対象とします。

## ●東大阪市における温室効果ガス排出量の現状

- ・東大阪市における温室効果ガス排出量について、2019（令和元）年度は、約2,309千トンCO<sub>2</sub>（基準年度比29.3%削減）と推計され、減少傾向にあります。

2013年度（基準年度）及び2017～2019年度の排出量推計値

2013年度 （平成25）	2017年度 （平成29）	2018年度 （平成30）	2019年度 （令和元）
3263.8	2721.2	2430.5	2308.8

単位：千トンCO<sub>2</sub>

## ●本計画の温室効果ガス削減目標

### 【短期目標】

2030（令和12）年度に  
2013（平成25）年度比  
50%削減

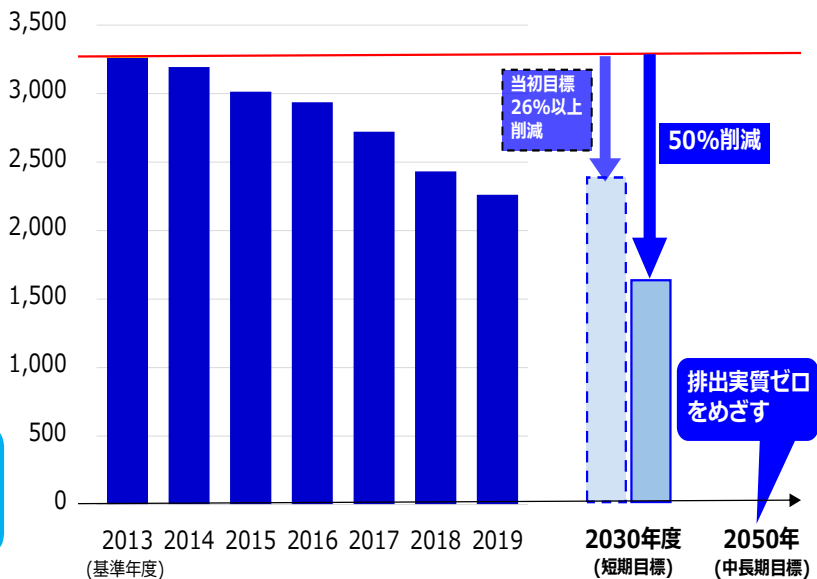
（本計画の当初目標「26%以上削減」から大幅引き上げ）

### 【中長期目標】

2050（令和32）年  
温室効果ガス排出実質ゼロ  
（あるべき将来像）

「2050年ゼロカーボンシティ」  
の実現をめざします！

(千トン-CO<sub>2</sub>)



## ●本計画における地球温暖化対策の取り組み

- ・これまでの地球温暖化対策の中心であった「緩和策（※1）」に加えて、本計画では新たに「適応策（※2）」を位置づけました。

（※1）緩和策とは、温室効果ガスを減らす取り組みであり、省エネルギー化の推進や低炭素なライフスタイルへの転換、緑化の推進などが挙げられます。

（※2）適応策とは、既に顕在化してきている地球温暖化による気候変動の影響に備える、もしくはその被害を回避するための取り組みです。

- ・「緩和策」については、前計画の4つの基本方針をベースとしてSDGs（エス・ディー・ジーズ、持続可能な開発目標）（※3）の考え方を取り入れた新たな基本方針の下、これまでの取り組みを継続しつつ、一部新たな施策や事業を位置づけました。（詳細は次ページ）

（※3）SDGsとは、貧困や不平等・格差、気候変動など様々な世界的問題を根本的に解決し、持続可能で「誰一人取り残さない」社会の実現をめざすための世界共通の17の目標です。



# 地球温暖化対策の取り組み(緩和策)の施策体系と実施目標

基本方針	施策の展開方向	施策	実施目標 (2030年度)	
<b>基本方針1</b> モノづくりのまちとして環境負荷の低減を意識した取り組みの展開 	環境産業の育成	東大阪ブランドへの環境配慮型製品での登録促進	<b>●太陽光発電導入量</b> <b>70000kW</b> 【内訳】 住宅用(10kW未満) 42000kW 非住宅用(10kW以上) 28000kW <b>●エネルギー消費量</b> ・製造品出荷額等 1億円あたり <b>691.6GJ/億円以下</b> (2013年度比 29.6%削減) ・従業員 1人あたり <b>30.6GJ/人以下</b> (2013年度比 38.4%削減) ・1世帯あたり <b>23.5GJ/世帯以下</b> (2013年度比 31.5%削減) (注)J(ジュール)はエネルギーの単位で、GJ(ギガジュール)は10の9乗Jを表します。	
		事業者の省エネ・省CO <sub>2</sub> 化の推進		省エネ・省CO <sub>2</sub> 行動の普及啓発
				環境マネジメントシステムの導入促進
	省エネ・省CO <sub>2</sub> 設備、再生可能エネルギー等の導入促進			
	省エネ・省CO <sub>2</sub> などの推進しやすい環境づくり	建築物の省エネ化促進		
		自動車からの温室効果ガス排出量の削減		
カーボン・オフセット制度の活用				
市の率先行動	優れた環境への取り組みに対する意識向上			
	職員の環境配慮行動等の推進			
	公共施設の省エネ・創エネ、省CO <sub>2</sub> 化の促進			
<b>基本方針2</b> 「得する・損しない」から始める環境にやさしいライフスタイルの実現 	市民の省エネ・省CO <sub>2</sub> 等の推進	「COOL CHOICE(賢い選択)」運動の実践	・従業員 1人あたり <b>30.6GJ/人以下</b> (2013年度比 38.4%削減) ・1世帯あたり <b>23.5GJ/世帯以下</b> (2013年度比 31.5%削減) (注)J(ジュール)はエネルギーの単位で、GJ(ギガジュール)は10の9乗Jを表します。	
		家庭における省エネ診断の普及・促進		
		住宅の省エネ・省CO <sub>2</sub> 化の推進、再生可能エネルギー等の導入促進		
	環境教育・学習の推進	自動車からの温室効果ガス排出量の削減【再掲】		
		“ナッジ”を活用した省エネ・省CO <sub>2</sub> 行動の促進		
		学校における環境教育の推進		
社会における環境教育の推進				
<b>基本方針3</b> みどり豊かで快適に住み続けられる都市環境の創造 	車に頼らず歩いて暮らせるまちづくりの推進	コンパクトシティの推進	<b>●市街化区域における緑地率: 10.5%以上</b> <b>●公共交通分担率(※): 22.2%</b> (※)人の移動手段のうち、鉄道・バス・タクシーが占める割合のこと。	
		公共交通機関のネットワークの形成および利用促進		
		自転車利用の促進		
	ヒートアイランド対策・緑化の推進	ヒートアイランド対策の推進		
		都市緑化の推進		
		生駒山における森林の保全		
<b>基本方針4</b> 環境に負荷を与えない循環型社会の構築 	ごみの発生抑制	一般廃棄物の削減	<b>●一般廃棄物の焼却処理量: 14.1万トン</b>	
		産業廃棄物の削減		
	廃棄物の有効利用・エネルギー活用	焼却施設における高効率発電の導入		

**東大阪トライプロジェクト** 本市のまちの特徴やまちづくりの方向性を踏まえた地球温暖化対策の取り組みの検討

【トライ1】本市の特徴を活かしつつSDGsを意識した地球温暖化対策の取り組みの検討

【トライ2】スポーツのまちづくりとタイアップした地球温暖化対策の取り組みの検討

【トライ3】環境負荷が少ないエネルギーの導入や選択を促す取り組みの検討

# ご家庭でできる地球温暖化対策

ご家庭でできる省エネを中心とした地球温暖化対策の取り組み例とその効果をご紹介します。省エネに努めれば、光熱費が安くなり、家計の助けにもなります！

(参考) 本市の温室効果ガス排出量：約 2,309 千トン CO<sub>2</sub> (2019 年度)

【エネルギー消費量 (1 世帯あたり) の本計画における目標値と基準値】

目標値 (2030 年度)	基準値 (2013 年度)
<b>23.5GJ</b> (基準値から 31.5%の削減) ※電気とガスを使用するご家庭の場合 電気消費量：年間約 4074kWh ガス消費量：年間約 196m <sup>3</sup> の合計に相当	<b>34.3GJ</b> ※電気とガスを使用するご家庭の場合 電気消費量：年間約 5946kWh ガス消費量：年間約 287m <sup>3</sup> の合計に相当

(注) 電気・ガス消費量は世帯人数等により変動します。

## 1

### エアコン

	削減金額 (円)	CO <sub>2</sub> 削減量 (kg-CO <sub>2</sub> )	省エネ効果 (電気・kWh)
★夏の冷房時の室温は 28℃を目安に設定する。 (熱中症に注意して無理のない室温設定にしましょう。) 外気温度 31℃の時、エアコン (2.2kW) の冷房設定温度を 27℃から 1℃上げた場合 (使用時間：9 時間/日)	約 940	14.8 (約 1.1 本)	30.24
★冬の暖房時の室温は 20℃を目安に設定する。 外気温度 6℃の時、エアコン (2.2kW) の暖房設定温度を 21℃から 20℃にした場合 (使用時間：9 時間/日)	約 1,650	25.9 (約 1.9 本)	53.08
★エアコンのフィルターを月 1~2 回程度清掃する。 フィルターが目詰りしているエアコン (2.2kW) とフィルターを清掃した場合の比較	約 990	15.6 (約 1.1 本)	31.95
★エアコンの使用時間を 1 日 1 時間減らす。 (夏は熱中症に注意して無理なく使いましょう。) ①冷房 28℃、②暖房 20℃で使用する場合	①約 580 ②約 1,260	①9.2 (約 0.7 本) ②19.9 (約 1.4 本)	①18.78 ②40.73

(注) 削減金額・CO<sub>2</sub>削減量・省エネ効果は 1 年間取り組んだ場合の値です。また CO<sub>2</sub>削減量の下 ( ) 内の数値は 50 年杉の 1 年間 1 本あたりの平均 CO<sub>2</sub>吸収量を 14kg とした場合に 50 年杉の木で何本分に相当するかを表します。以降も同様です。

## 2

### 照明・テレビ

	削減金額 (円)	CO <sub>2</sub> 削減量 (kg-CO <sub>2</sub> )	省エネ効果 (電気・kWh)
★白熱電球・蛍光灯を LED タイプに交換する。 ①54W の白熱電球を 9W の LED タイプに交換した場合 ②42W の蛍光灯を 12W の LED タイプに交換した場合 ※いずれも年間 2,000 時間使用	①約 2,790 ②約 1,860	①43.9 (約 3.1 本) ②29.3 (約 2.1 本)	①90.00 ②60.00
★テレビを見ないときは消す。 液晶テレビ (32V 型) で 1 日 1 時間テレビを見る時間を減らした場合	約 520	8.2 (約 0.6 本)	16.79
★テレビの画面は明るすぎないように設定する。 液晶テレビ (32V 型) の画面輝度を最適 (最大→中間) にした場合	約 840	13.2 (約 0.9 本)	27.10

## 3

## キッチン

	削減金額 (円)	CO <sub>2</sub> 削減量 (kg-CO <sub>2</sub> )	省エネ効果 (電気・kWh)
★ものを詰め込みすぎない。(冷蔵庫) 詰め込んだ場合と、半分にした場合の比較	約 1,360	21.4 (約 1.5 本)	43.84
★設定温度を適切にする。(冷蔵庫) 設定温度を「強」から「中」にした場合(周囲温度 22℃)	約 1,910	30.1 (約 2.2 本)	61.72
★壁から適切な距離で設置する。(冷蔵庫) 上と両側が壁に接している場合と片側が壁に接している場合の比較	約 1,400	22.0 (約 1.6 本)	45.08
★電気ポットを長時間使用しない時はプラグを抜く。 電気ポットに満タンの水 2.2L を入れ沸騰させ、1.2L を使用后、6 時間保温状態にした場合と、プラグを抜いて保温しないで再沸騰させた場合の比較	約 3,330	52.4 (約 3.7 本)	107.45

## 4

## お風呂・トイレ・洗濯

	削減金額 (円)	CO <sub>2</sub> 削減量 (kg-CO <sub>2</sub> )	省エネ効果
★間隔を空けずに入浴する。 2 時間の放置により 4.5℃低下した湯(200L)を追い焚きする場合(1 回/日)。	約 6,190	85.7 (約 6.1 本)	ガス 38.20m <sup>3</sup>
★シャワーは不必要に流したままにしない。 45℃の湯を流す時間を 1 分間短縮した場合	約 3,210	28.7 (約 2.1 本)	ガス 12.78m <sup>3</sup> 水道 4.38 m <sup>3</sup>
★使わないときは温水洗浄便座のふたをしめる。 フタを閉めた場合と、開けっぱなしの場合の比較(貯湯式)	約 1,080	17.0 (約 1.2 本)	電気 34.90kWh
★洗濯物はまとめ洗いする。 定格容量(洗濯・脱水容量:6kg)の 4 割を入れて洗う場合と、8 割を入れて洗う回数を半分にした場合の比較	約 4,510	2.9 (約 0.2 本)	電気 5.88kWh 水道 16.75m <sup>3</sup>

## 5

## 移動

☆出かける際には、まずは徒歩や自転車、公共交通機関の利用を検討しましょう。

☆自家用車を保有する場合は次のことに気をつけましょう。

	削減金額 (円)	CO <sub>2</sub> 削減量 (kg-CO <sub>2</sub> )	省エネ効果 (ガソリン・L)
★ふんわりアクセル「e スタート」で発進する。 5 秒間で 20km/h 程度に加速した場合	約 11,950	194 (約 13.9 本)	83.57
★加速減の少ない運転をする。	約 4,190	68 (約 4.9 本)	29.29
★早めのアクセルオフを心がける。	約 2,590	42 (約 3 本)	18.09
★アイドリングストップを心がける。 5 秒の停止で、アイドリングストップした場合	約 2,480	40.2 (約 2.9 本)	17.33

(注) 自家用車の取り組みの詳細な効果測定条件については、計画本体の 62 ページをご参照ください。

# 事業者ができる地球温暖化対策

## 1 運用改善による地球温暖化対策（ソフト面）

普段の事業活動の中で取り組むことができるソフト面での地球温暖化対策の取り組み例をご紹介します。（ビル・工場共通）

### □一般的な管理事項（省エネの推進体制の構築など）

- ・省エネ活動を継続的に行う仕組み（省エネ委員会など）を作る。
- ・省エネ対策の方針や実施計画を設定する。
- ・人材教育や省エネ啓発活動をする。 など

### □空調・換気設備

- ・季節に応じて室内温度・湿度を適正管理する。 など

### □照明設備

- ・室の照度基準を決めて管理する。
- ・空室や昼休み時間等、不要時は消灯する。 など

### □冷凍・冷蔵設備

- ・扉の開閉回数、開時間、出し入れ回数を減らす。 など

### □エネルギー利用最適化

- ・各種の再生可能エネルギー電気メニューへの切り替えを検討する。
- ・再生可能エネルギー電力証書等の購入を検討する。 など

## 2 設備改修による地球温暖化対策（ハード面）

省エネ性能の高い機器への更新や省エネ制御の導入・方式変更などハード面での地球温暖化対策の取り組み例をご紹介します。（ビル・工場共通）

### □空調・換気設備

- ・空調エリアを小さくする（間仕切り、高天井の内張り等）。
- ・断熱性が高い壁や天井等にする。
- ・高効率空調機へ更新する。 など

### □照明設備

- ・自動調光による減光や消灯を実施する。
- ・LED 照明に更新する。 など

### □冷凍・冷蔵設備

- ・扉にエアカーテン等を設置し、外気侵入量を低減する。
- ・高効率冷凍・冷蔵庫を採用する。 など

### □エネルギー利用最適化

- ・コージェネレーションシステムの導入を検討する。
- ・太陽光発電の導入を検討する。 など

※上記で紹介した取り組みは一部ですので、さらに詳細な取り組みについては計画本体の 69～76 ページをご参照ください。

# 地球温暖化の影響に備える適応策

東大阪市で考えられる地球温暖化の影響と、その影響による被害を回避する、被害に備える適応策についてご紹介します。

1

## 農業・森林

- ・異常気象の増加による、農業への影響
- ・短時間豪雨による山地等の崩壊・土石流等



- ・高温障害に強い品種の選択
- ・農業温暖化ネット等からの情報収集
- ・ハザードマップ等による土砂災害の発生可能性が高い場所の情報収集
- ・傷ついたり、形が変わった作物を流通させる

2

## 水環境・水資源

- ・公共用水域の水温上昇に伴う水質悪化
- ・降水日数減少による渇水の頻発化、深刻化等



- ・将来、雨の降らない時期が長くなる可能性に備え、常日頃から節水を心がけ、水を備蓄する



3

## 自然生態系

- ・気候変動による分布域の変化から、種の絶滅を招く可能性、外来種の侵入・定着率の変化



- ・気候変動の影響による外来種等の生態系の情報収集
- ・環境省のモニタリングサイト等への参加
- ・生態系調査の担い手としての協力
- ・ビオトープを計画的に作る

4

## 自然災害

- ・記録的な大雨や強力な台風の増加による、河川・土砂災害、浸水被害等の増加と被害の拡大



- ・身近な避難所や避難経路の把握
- ・ハザードマップ等の防災情報を収集するための様々なツールの確認
- ・災害発生に備えた、食料品等の備蓄

5

## 健康

- ・熱中症搬送者数の増加
- ・感染症にかかりやすい要因（蚊など）の増加



- ・熱中症予報を事前に確認した行動に努める
- ・日傘・帽子の使用、涼しい服装の着用、日陰の利用、こまめな水分・塩分補給
- ・蚊の発生源となる水たまりの除去や下草刈り
- ・防虫スプレー、肌の露出を避ける服装

6

## 産業・経済活動

- ・気候変動が影響して発生する災害により、事業そのものの継続が難しくなる可能性



- ・緊急事態を想定した対応策の作成、可能な範囲での定期的な訓練の実施
- ・緊急事態の発生後及び訓練の実施後に、対応策の有効性の検証や必要に応じた改訂を行う
- ・事業継続計画（BCP）の策定

7

## 市民生活・都市生活

- ・短時間豪雨や強い台風の増加によるインフラ・ライフライン等への影響
- ・ヒートアイランド現象に気候変動の影響が重なることによる大幅な気温上昇

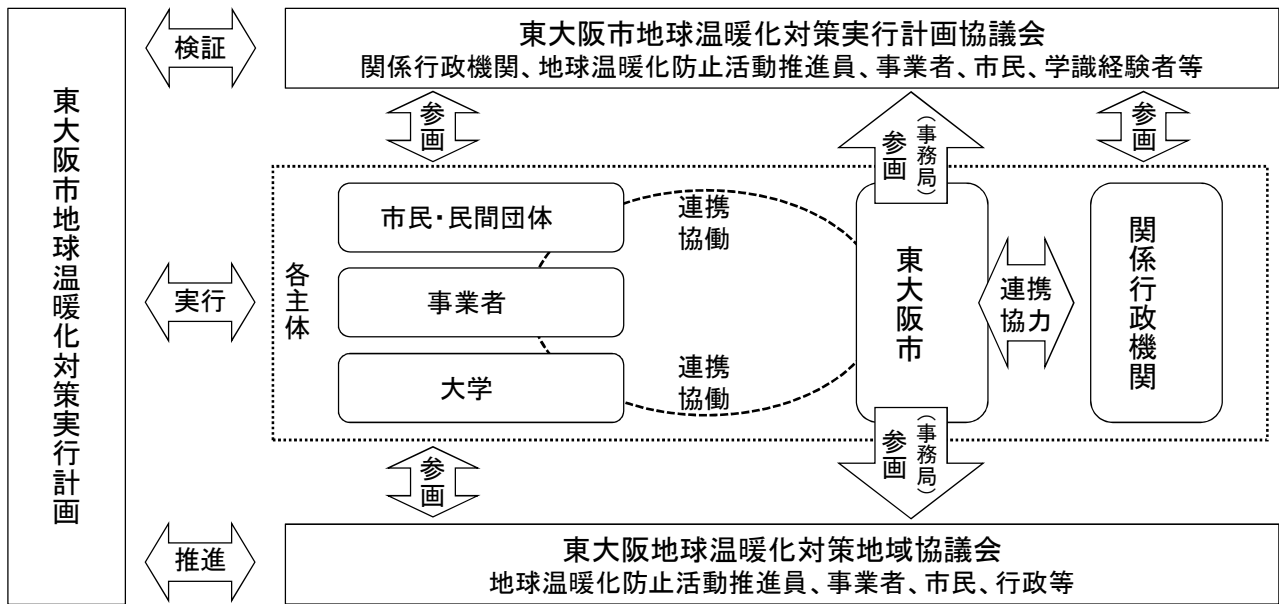


- ・身近なサクラの開花時期やカエデの紅葉時期など、生物季節の変化の確認
- ・打ち水実施、緑のカーテンの導入などによるライフスタイルの改善
- ・公共施設の利用等で涼をシェアするクールシェア、扇風機とエアコンの併用、クールビズ等を心がけるなどにより、家庭でのエアコン使用に伴う人工排熱を減らす



# 計画の推進体制

・市民・事業者・行政等の各主体の連携・協働により、本計画を効率的・効果的に推進します



## ご家庭のエコライフ度をチェック！ ～エコチェックシート～

項目	取り組み	チェック欄
エアコン	○夏の冷房時の室温は28℃を目安に設定する	
	○冬の暖房時の室温は20℃を目安に設定する	
	○エアコンのフィルターをこまめに掃除する	
	○エアコンの使用時間を1日1時間減らす	
照明 テレビ	○白熱電球や蛍光灯をLEDタイプに交換する	
	○テレビを見ないときは消す	
	○テレビの画面は明るすぎないように設定する	
冷蔵庫 その他	○ものを詰め込みすぎない(冷蔵庫)	
	○設定温度を適切にする(冷蔵庫)	
	○壁から適切な距離で設置する(冷蔵庫)	
	◎電気ポットを長時間使用しない時はプラグを抜く	
お風呂	◎間隔を空けずに入浴する	
シャワー	○シャワーは不必要に流したままにしない	
	○使わないときは温水洗浄便座のふたをしめる	
トイレ 洗濯	○洗濯物はまとめて洗う	
	○洗濯物はまとめて洗う	
移動 自動車	☆徒歩・自転車・公共交通機関の利用を心がける	
	◎ふんわりアクセル「eスタート」で発進する	
	◎加減速の少ない運転をする	
	○早めのアクセルオフを心がける	
	○アイドリングストップを心がける	

◎:CO<sub>2</sub>削減量 50kg-CO<sub>2</sub> 以上 ○:CO<sub>2</sub>削減量 50kg-CO<sub>2</sub> 未満の取り組み  
☆:出かける際には、自動車を利用しないことが最も環境にやさしい選択です。

### エコライフの目安

左記取り組み全 20 項目中、  
**16 項目以上**  
上手にエコライフに取り組むことができています。  
引き続き、無理なく楽しく続けましょう。

**11～15 項目**  
普段の生活で、かなり心がけができています。  
取り組めていない項目も心がけてみましょう。

**6～10 項目**  
普段の生活で、比較的心がけができています。  
まだ取り組める項目があるので、心がけてみましょう。

**5 項目以下**  
普段の生活で、家計的にも損しているかもしれません。  
できることから心がけてみましょう。